



令和3年2月号 Vol.40
情報メディア教育センター



今年の節分は、2月2日

節分は立春の前日にあたる日で、「二十四節気」という季節を24分割したものを元に、地球と太陽の位置を国立天文台が調べて決定しているのだそうです。今年は124年ぶりの2月2日。“鬼は外”パワーと“恵方巻”でコロナが収束に向かうことを祈っています。



歳時記 - 2月 February febbraio (伊)

二月は如月（きさらぎ）。寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」という説があるそうです。二月は最も寒さ厳しい折ですが、暦の上での季節は『初春』—二月四日の『立春』から二月十九日頃の『雨水』を過ぎ、三月六日頃の『啓蟄（けいちつ）』の前日までをさします。『雨水』は雪が雨へと変わり、降り積もった雪も溶けだす頃の意味、チロチロと流れ出す雪解け水に、春の足音を感じます。『啓蟄』は大地



が温まって、冬ごもりから目覚めた虫が、穴をひらいて顔を出す頃、「啓」はひらく、「蟄」は土の中に閉じこもっていた虫（蛙や蛇）という意味です。ひと雨ごとに暖かくなり、日差しも春めき、生きものが再び活動し始めます。寒いけれど、夕空を見て陽が長くなってきたなあと感じる頃ですね。

さて、2月と言えば、やっぱり♥バレンタインデー♥。2月14日は女性にとっても、男性にとってもこころザワザワ… 外の寒さとは真逆なホットな胸のうち…という頃。昔は、義理チョコ世風靡でしたが、最近では女性が、いつも頑張っている自身へのご褒美で、お洒落で高級なチョコを奮発するなどバレンタイン市場は変化しているとか… まさに、そんな日本は世界で最も華やかな・盛り上がるバレンタインデーを迎える国です!!

では、バレンタイン発祥の地は… もちろんイタリア!! cantare - mangiare - amore(カンターレ-歌って、マンジャーレ-食して、アモーレ-愛して)の国。そのイタリアのバレンタインデー事情はどうでしょうか。その前に、なぜこの日が出来たのでしょうか?この由来は、大昔3世紀にローマ帝国のテルニという街にバレンティーノ（英語読み『バレンタイン』）というキリスト教の司祭がいました。彼は信仰深く信徒たちの信望を集めていましたが、当時のローマ帝国はキリスト教を認めず、時の皇帝クラウディウス・ゴティックスはキリスト教をつぶすためにバレンチーノを捕えて改宗するように迫りましたが、彼はこれを拒否したため、270年2月14日、会堂で殺されてしまいました。当時、皇帝は「士気が下がる」と兵士たちの結婚を禁止していましたが、バレンチーノは兵士に恋人ができるとこっそり結婚させていました。彼はやがて聖人に列され、殉教した2月14日が「愛の日：聖バレンティーノの日」とされました。



2月14日、愛情たっぷりのイタリア人は、愛する人へいつでも愛情を伝えるために、バレンタインには感謝の気持ちをこめて、男性が女性に深紅のバラの花やチョコレートなどを贈ったり、またお互いに贈り物の交換をします。しかし、街やお店はバレンタインを意識させる日本のような賑わいはなく、比較的落ち着いた♥のディスプレイ、街角の花屋さんでは真っ赤なバラがたくさん並んでいるといったふうです。この日はレストランで食事を共にする愛し合うカップルが多く、特別なメニューが用意されているレストランもあります。食事中に真っ赤なバラを売る花さんがテーブルをまわっています。とても落ち着いた、愛を育む日となります。イタリア滞在中の2月14日は奮発して素敵なレストランへ行ってみると、ロマンチックで美味しいイタリア料理に出会えるかも… “Buono! Buonissimo!!” (吉岡 一恵先生)





新着図書ピックアップ



『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』

町田そのこ【著】

偶然にも選んだ本のタイトルに「チョコレート」が入っていました。この「チョコレートグラミー」は熱帯魚の名前。最近、登場人物を通して緩やかに話が繋がっていく連作短編集にはまっておりまして、この本も5話のリンクで読ませてくれます。

表題作「夜空に泳ぐチョコレートグラミー」の他、「波間に浮かぶイエロー」、「カメルーンの青い魚」など、どれも「泳ぐ」がテーマになっていて、もがきながら必死に生きる（＝泳ぐ）人々の姿が描かれています。最終話で登場人物がうまくつながり、皆、希望をもって歩き出します。温かな気持ちになれるいいお話です。（大塚）



『中学英語で読める はじめての英語ライトノベル』

若月 ルナ【著】



異世界と現世を行き来するファンタジー系ストーリー。日本の中学校に通う2年生の若月ルナは、ひょんなことから、異世界と現実世界を行き来することに。ライトノベルみたいなNHK基礎英語の本です。

英語の原書で読書を楽しむというのは、素敵な事ですね。でも、いきなり難しい本を読もうとするのは大変です。英文は単語面でも文法面でも中学レベルなので、読みやすくておもしろいストーリーです。英語で読書を楽しんじゃいましょう！（尾崎）

『コロナと潜水服』

奥田 英朗【著】

奥田英朗ワールドです。不思議な世界観とユーモアが散りばめられ、そしてホッと暖かくさせてくれる5つの短編。コロナ禍が小説の中にも書かれるような日常なんだなと思いつつ、本書に悲壮感はなく、癒されるお話でした。そして、なんと紙の本には、作中の登場曲が楽しめるSpotifyのプレイリスト付き！音楽を聴きながら読むのも間違いなく楽しいと思います♪。（大原）

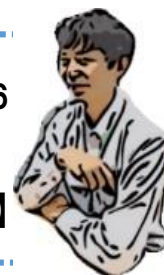


新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

「その本、もう読んだ」とか言ってみよう 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.36

『「なるほど！」とわかる はじめての自分の心理学』

ゆうき ゆう【著】



2月の開館予定

心理学を利用して、本当の自分を知ることによって、自分の心や行動をコントロールしたり、豊かな人間関係をつくったり、学業などが上首尾にいくかどうかにも大きく影響するそうです。

そもそも自分って…どんな性格なんだろう？

友達に「〇〇さんって□□な性格だね。」とか「△△に向いているよね。」って言われて、「えっ！？そうかな…(°Д°)」といった経験一度はあるかと思います。知っているようで、知らない。自分の性格。そして、生きていくうえで、避けては通れない“人付き合い”。これが、ストレスの核になっていると思うんですよね。人との付き合いがなければ、ほぼノンストレスなんじゃないかななんて個人的に思います。承認欲求…。

自分の周りを取り巻くモヤモヤ…ストレスを蓄積しながら生活を送っている方、多いのではないのでしょうか。他人のことなど考えずゴーイング・マイ・ウェイ♪と図太い人も世の中には存在していますが、そんな人は確実に他人に迷惑をかけていますので、本書を読んで自分自身を見つめなおすことを早急に勧めます。

本書を読むことで、自分の性格の本質を理解することができます。そして、自分の良い部分と悪い部分がハッキリ見ることができるので、変えなければならぬ点などもハッキリしてきます。人付き合いにおいても、もっと自分を追い込まずに“楽”に過ごす術を心理学の観点から与えてくれます。

まあ本書を読み進めていくと、自分はかなり自罰型なんだ…。と。自分でも知っているつもりですが、これが普通なんだと思っていたのと、それ以外の捉え方のイメージがなかったので、正直この本を読んでハッとしました。きっと、みなさんも必要以上に自分を追い込んでいる(過剰な思い込み)傾向の人多いかと思います。まず、自分の心を認識して、自分の心をコントロールすることが大切なんです。楽に生きましょうよ。楽に。

次回では、「なるほど！」とわかる はじめての他人の心理学を紹介する予定です。



2月	
1 月	8:10-18:50
2 火	8:10-18:50
3 水	8:10-18:50
4 木	8:10-18:50
5 金	8:10-18:50
6 土	休館
7 日	休館
8 月	8:10-18:50
9 火	8:10-18:50
10 水	8:10-18:50
11 木	休館
12 金	8:10-18:50
13 土	休館
14 日	休館
15 月	8:10-18:50
16 火	8:10-18:50
17 水	8:10-18:50
18 木	8:10-18:50
19 金	休館/館内整理
20 土	休館
21 日	休館
22 月	8:10-18:50
23 火	休館
24 水	8:10-18:50
25 木	8:10-18:50
26 金	8:10-18:50
27 土	休館
28 日	休館



第 35 回 的場 茂樹先生おすすめ

『イチからわかる 国際情勢』 島根 玲子【著】

「外交」、自分にはあまり関係の無い話だと、日常生活からはかけ離れた事だと思ってしまうかもしれません。でも実際には食料やエネルギーなど外国との良好な関係なくしては成り立たない事がたくさんあります。著者は 2016 年に三重県で開催された G7 サミットで広報を担当した外交官ですが、身近なテーマや重大問題もとりあげてわかりやすく書いています。

外国と良好な関係が日常生活のさまざまなところで深く関係していることを再認識し、外交や世界の出来事に関心をもって、国際社会での日本の活動を考えることができると思います。

※お薦め本はリレー連載です。次のボタンはどなたに渡るかな？



受験シーズン真っただ中ですが、いつの間にか卒業式まであとチョットになっていました。毎年この頃は図書館に来てくれたいろんな人の顔が浮かびます。少し寂しい気もしますが、みなさんと出会えたことに改めて感謝できる時期でもあるのです。うちの図書館はどうでしたか？ちょっとは思い出に残ったでしょうか？

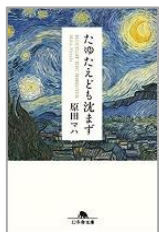
自分にとって「この一冊」に出会えた人はとても強いと思います。音楽もそうですが、自信をもらったり、優しい気持ちにさせてくれたり、頑張る力が湧いてきたり…落ち込んだ時に読む本、何かを始めるときに読む本、自分の生き方のお手本にしたい本、大げさに言ってしまうと「生きる」ことのできる本を見つけた人はとても幸せなのではないかと。この先、そんな本を是非見つけてほしいと思います。

そんなことで、今月の特集は、「卒業生を送る棚」。お世話になった先生方からの高校生活最後の「一冊」をご紹介します。あの先生がこんな本を！！ 卒業される皆さん必見です！！

私たち司書も贈る言葉にかえて本を紹介したいと思います。



『たゆたえども沈まず』 原田 マハ【著】

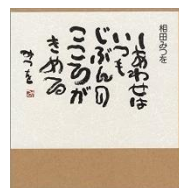


フランスを舞台に画家ゴッホと彼に関わる人々の人生を描く。たとえゆらゆら揺られても決して沈まない。しなやかに生きてゆく。セーヌ川に浮かぶ舟のように。卒業おめでとうございます。



『しあわせはいつも』 相田 みつお【著】

「しあわせはいつもじぶんのところがきめる」



シンプルな言葉なんですけれども、素敵な考えではないですか。いつまでも幸せでありますように。



『金の言いまつがい』 糸井 重里【著】



どんな時も、笑うことで元気がでると思います。クスッとして、頭を空っぽにできるステキなこの本をお勧めします。



お知らせ

卒業されるみなさんへ

最終返却日は2月15日（月）になります。受験等で今後も貸出を希望する人はカウンターで延長手続きをしてください。
☆館内利用は3月31日までOKです☆

- ♥ 図書館では、この時期恒例となるバレンタインの展示を始めました。『チョコケーキとクッキー、生チョコレート』の本やチョコにまつわるお話『バレンタインデーの秘密』などバラエティに富んだ棚をのぞいてみてください。
- 🧊 図書委員さんが選んだ「〇〇始めてみませんか」コーナーが出来ました。見に来てくださいね。



編集後記 一年で一番寒い時期になりました。依然としてコロナが猛威をふるっています。皆さん、春まであと少し。元気に過ごせますように。

がんばろう

